

「臨海部」咲洲・夢洲地区

＜咲洲・夢洲の活性化に向けた戦略について＞

1. 大阪・関西の強み

- 成長著しい南・東アジア地域との交流・交易拠点としての地政学的な優位性
- ものづくり技術に優れた高付加価値生産型の企業の集積

2. 大阪・関西活性化の視点

- グリーン革命が世界的に展開する中、都市の持続的発展を推進していく上での新たな活性化エンジン：「環境」、「新エネルギー」

3. 将来の大阪の発展に向けた戦略

～未来への投資の一つとしての戦略拠点の整備～

- 大阪・関西の強みを活かし持続可能な都市づくりをめざす仕掛けとして、アジアや世界から、人・モノ・情報が集積する磁場の創出が必要。そのため、税源涵養・産業集積に資する戦略拠点に重点投資を図る。
 - ・大阪駅北地区；関西圏の知的集積からビジネス創造が展開される戦略拠点の整備を推進
 - ・咲洲・夢洲地区；大阪駅北地区と両輪となる先端産業分野の実践エリア、知の実践エリアとして展開

4. 咲洲・夢洲のまちづくりの方向性

- グリーン・テクノロジー・アイランドとして、次世代産業等の集積を図り「環境先進都市・大阪」のモデルとなるような拠点形成をめざす。
 - ・咲洲コスモスクエア地区；南・東アジアに開かれたビジネス交流・交易拠点の形成をめざす。
 - ・夢洲先行開発地区；環境技術や新エネルギー産業の生産施設等の誘致並びにスーパー中核港湾として効率的な物流機能の実現を図る。

5. 実現に向けた取り組み

- 咲洲地区での南・東アジアとのビジネス交流・交易拠点の形成に向け、
 - (1) 大型車の渋滞緩和をはじめ喫緊の課題である地区内の環境改善・交通アクセスの改善に重点的に取り組む。
 - (2) インテックス大阪のあり方の検討に加え、国際的な公的機関の集積を図るなどコンベンション機能の充実を図る。
- 咲洲・夢洲地区の企業誘致、産業振興に向け、
 - (3) 企業等誘致協議チームを中心にプロモーションの推進やインセンティブ方策の検討などに取り組むとともに、夢洲の先行開発地区では、引き続き土地利用に向けた基盤整備の推進やリチウムイオン電池など次世代産業の振興に不可欠なスーパー中核港湾としての物流機能の強化を図る。
- グリーン・テクノロジー・アイランドの形成に向けた新たな取り組みとして、
 - (4) 知の実践エリアとして、臨海部の特性を活かした環境施策の展開を図る。

○ 22年度の具体的な取り組み等



(1) 環境改善、交通アクセスの改善

- ① 咲洲R岸壁フェリー対応化など埠頭再編の推進
 - ② 入港料インセンティブの導入
 - ③ 国際フェリーターミナルにおけるヤード拡張整備
 - ④ ベデストリアンデッキの整備(設計)
 - ⑤ 咲洲防災機能強化のための施設整備など(設計等)
 - ⑥ 道路案内表示の見直し
- 地下鉄中央線の乗り継ぎ・終電ダイヤの見直し等

(2) コンベンション機能の強化

- ⑦ インテックス大阪のあり方検討
- ⑧ コンベンション誘致活動の展開
- ⑨ アジア観光交流センター事業の展開
- ⑩ ベイエリアの観光プロモーションの実施
- ⑪ 川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業

(3) 企業誘致、産業振興策

- ⑫ 咲洲コスモスクエア地区立地促進助成制度の活用
- ⑬ 企業等の立地促進、先端産業誘致に向けたPR活動の展開
- ⑭ 経済特区検討調査
- ⑮ 夢洲土地造成事業の推進
- ⑯ 夢洲コンテナ埠頭整備(夢洲コンテナターミナルへの貸付金事業)

(4) 臨海部の特性を活かした環境施策の展開

- ⑰ 咲洲地区における再生可能エネルギー利用拡大に関する検討調査
- ⑱ 夢洲等における太陽光発電等導入調査
- ⑲ 電気自動車の導入及び倍速充電スタンドの整備
- ⑳ 咲洲地区等における低炭素型交通システムの普及に向けた取組み